

輝け!! 石尾っ子

～子ども・家庭・地域・学校 みんなつながる～

第 2 号

令和 6 年 7 月 19 日

明日から夏休みです



明日から待ちに待った夏休みが始まります。1学期は各学年で修学旅行や校外学習に行きました。文化活動発表会も終わりました。みなさんにとってどのような1学期でしたか？

新しい学年・クラス・教室・仲間・先生と、昨年とは違う環境の中で過ごしてきましたが、自分の1学期を振り返ってみて、100点満点でいったい何点になるのでしょうか。「勉強をがんばった」「クラブを頑張った」「委員会を積極的に取り組めた」「整理整頓ができるようになった」など、みんなの前で言えるようなことがあればいいですね。

振り返りでは反省点ばかりを考えがちになります。当然反省点については、どうすれば改善できるのか、そして良かったことについても、これからさらに伸ばすためにどうするかをこの機会に考え、2学期からの成長に活かしてください。

部活動決起集会でキャプテン・部長が話していたように、悔いの残らないように最後の大会に向けてがんばってください。自分のためにはもちろんですが、まわりの人（保護者・友達・地域の方々）たちのためにという気持ちを持って力を発揮してください。もし、最後の大会がもう終わった人たちは3年間お疲れ様でした。次はそのパワーを勉強（入試）に向けてください。1・2年生は、先輩たちのいいところはしっかりと学び、新チームでも活かしていけるように今から学んでおきましょう。

次の登校は、8月6日（火）の平和登校日で、始業式は8月26日（月）です。計画をきちんと立て、37日間の夏休みを有意義に過ごし、元気な姿と心で登校してください。

意見体験作文について



①「作文のタイトル」「〇年〇組 名前」は必ず書いてください。

②提出方法はPCを利用し、【Classroom】で800字以上を書き提出すること。

※PCを利用しての提出が不安な場合は、担任から原稿用紙（400字詰め3枚～5枚程度 ※市販のものでよい）をもらい、手書きで担任に提出すること。

●この夏（日々の生活で）、心に残った思い出や貴重な体験で感じたことや社会や自分の身の回りのことについて感じたことや考えたことなどを書いてください。

作文テーマの例 「最近のニュースをみて感じたこと」「高齢者問題」「外国人の人権問題」「戦争や平和」「環境問題」「〇〇委員会をやってみて」「部活動を通じて学んだこと」「習い事を通して感じたこと」「インターネットによる人権侵害問題」

夏休み中、特に気をつけること！

夏休みにみなさんが危険な被害にあうことがないように、

以下の点には特に注意しましょう。

注意



水難事故にも
気をつけましょう。

●大阪府青少年健全育成条例より

(夜間営業を行う施設への立ち入り制限等)

第二十四条

- 一 十六歳未満の者 **午後七時**(保護者が同伴する場合その他規則で定める場合にあつては午後十時)から**翌日の午前五時まで**

(保護者の努力義務)

第二十五条 保護者は、通勤又は通学その他正当な理由がある場合を除き、次の各号に掲げる者の区分に応じ、当該各号に定める時間に青少年を外出させないように努めなければならない。

- 一 十六歳未満の者 **午後八時から翌日の午前四時まで**

●携帯電話やスマートフォン等によるインターネット等の利用に起因した事件の被害・加害、誹謗中傷の書き込み、ネット依存に対しては、インターネット利用の危険性があります。本校でも SNS の (LINE・Instagram・ティックトック) 内でのトラブルが多発しています。被害からみなさんを守るため、家庭でのルールづくりやフィルタリングの徹底するようにしましょう。

携帯(スマートフォン)を**持つ責任・持たせる責任も含めて**、ご家庭で話し合って頂けたらと思います。

日本の高校生 SNS トラブルの対処「相談」よりも「無視する」

日本とアメリカ、中国、韓国の4か国の高校生のSNSの利用状況に関する調査で、日本の高校生はトラブルに対し「相談」よりも「無視する」という対処を取りやすいことがわかりました。分析した専門家は「1人で抱え込まないよう相談しやすい体制づくりが必要だ」と指摘しています。

調査は、国立青少年教育振興機構とアメリカ、中国、韓国の研究機関などが協力して去年9月から実施し、各国の高校生あわせて1万5000人余りから回答を得ました。

SNS を利用している割合は4か国とも9割を超え、利用目的について日本の高校生は、「ゲームや音楽などの娯楽」「趣味などの情報収集」「リアルな友達や知り合いとのコミュニケーション」などがいずれも75%を超えてほかの3か国より高くなりました。

また、3人に1人が「推し活」と回答し、ほかの国より10ポイント以上高くなりました。

一方、SNS 上でのトラブルでは、「アカウントの乗っ取りをされた」ことがある日本の高校生は8.5%、「個人情報漏洩されたこと」があるのは5.4%でした。

また、「SNS 上で悪口や嫌がらせを受ける」ことが、「よくある」「時々ある」という回答は4.3%で、ほかの3か国に比べ最も低くなりましたが、その対処としては「無視する」という回答が7割を超え、「友人に相談する」は3割余り、「保護者に相談する」は2割でした。

調査結果を分析した筑波大学の藤桂准教授は「日本の高校生は他国に比べ SNS 上で被害にあった割合は少ないものの、トラブルが起こったときに周囲に相談しづらく、1人で抱えているケースが多い可能性がある。相談しやすい窓口など被害を受け止めやすい体制づくりが必要だ」と指摘しています。

2024年7月2日 18時25分 NHK NEWSより

●若年者を中心とした大麻の乱用拡大が問題となっています。薬物乱用に関する正しい知識をもち、薬物には絶対手をださない、薬物乱用と関連性が高い喫煙及び飲酒も絶対に手をださないようにしましょう。休校によりできなかった薬物乱用防止教室は、2学期スタート時に延期します。